

高校生との意見交換

若者世代が考えるまちづくりに関する意見や提案を聞き、アイデアやヒントをまちづくりにつなげるため、市内高等学校の生徒を対象に市長との対話集会が行われました。

■ 議員のQ&市のA ■

Q 対話集会で出た意見をどのように市政に反映しているか。

A 企業や就職情報の発信を求める意見を受け、市内 59 社の業務内容等を掲載した仕事体験ガイドを発行し、電子データを配信した。そのほか、若者が集える場所の設置について意見があり、交流学習スペースとして気軽に利用できる市内 8 施設の利用案内のチラシとポスターを作成し、市内施設に掲示した。



上越地域医療センター病院基本計画の改定

令和 2 年 3 月に策定された「上越地域医療センター病院基本計画」について、当初の想定と現状に大きな乖離が生じたことから、社会情勢及び医療環境の変化を踏まえた改定版（素案）が示されました。

■ 議員のQ&市のA ■

Q 上越地域医療センター病院の改築に要する費用は、市民の命を守るためのコストであるということについて、市民理解を得るための取組がより一層必要ではないか。

A 当該病院は上越市地域全体の医療を支える施設であることから、地域協議会や市民説明会の在り方を工夫しながら実施することで、市民理解につなげていきたい。



所管事務調査

放課後児童クラブ

令和 7 年度、新たに 9 か所の放課後児童クラブの運営が民間事業者へ委託されました。また、委託クラブの拡充に向けて民間事業者と意見交換が行われました。

■ 議員のQ&市のA ■

Q 民間委託に伴う環境の変化や合理化等により、児童に目が行き届かなくなることはないのか。

A 事業者への委託に当たり、統一した仕様書を用いて直営と同じ環境で児童を受け入れることを文書で確認している。また、市の職員が現場に入り、大きな支障がないか、職員配置基準が守られているかを随時確認し、安全性への配慮が直営と変わらないよう進めていく。



渇水対応

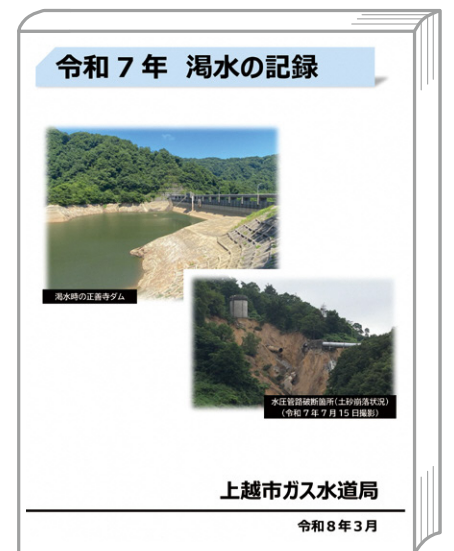
令和 7 年 4 月に発生した県営高田発電所の水圧管路破断事故に加え、同年 7 月の記録的な少雨により、城山浄水場及び正善寺浄水場の配水区域において渇水対策が必要な状況になりました。

■ 議員のQ&市のA ■

Q 今回の渇水の経験から得た課題をどう捉えているか。

A 得られた教訓を今後に生かすため、「令和 7 年渇水の記録」を取りまとめ、その中で市民への早期の情報提供や判断基準の明確化など、改善すべき課題を整理した。また、令和 8 年 5 月からガス水道局のホームページにおいて、主要な水源である正善寺ダム及び柿崎川ダムの貯水率や配水量を、前年度との比較を含め公表するなど、情報発信の充実に取り組んでいる。

ガス水道局 HP は
こちらから



アンダーパス冠水時の対応

■ 議員のQ&市のA ■

Q 市内のアンダーパスについて、冠水対策はどのような状況か。また、予期せぬ大雨に備え、今後対策を強化していくのか。

A 市内全 6 か所のアンダーパスに、冠水時の水深がわかるよう壁面表示を設けるとともに、大雨のときや冠水を把握した場合に、職員が現地確認を最優先で行う体制を取っている。また、3 か所のアンダーパスの前後に注意喚起を行う表示器を設置済で、1 か所では現在工事を進めている。なお、未設置の 2 か所も次年度以降の設置を検討している。

アンダーパスに
設置されている
表示器



避難所環境の整備

国の交付金を活用し、要配慮者向けの簡易ベッド及びプライバシー確保のためのパーティションが指定避難所等に配備されました。

■ 議員のQ&市のA ■

Q 具体的にどれだけ配備できたのか。また、それをどう評価しているか。

A 令和 7 年度に簡易ベッドを 1,900 個、パーティションを 1,000 個整備し、各避難所や備蓄倉庫、各区総合事務所に配備した。今回の整備により要配慮者等への対応に必要な数量を確保することで、避難所の環境づくりを進めることができた。



パーティション



簡易ベッド